



1月に入って繰り返し強力な寒波が襲来し、氷が張るなど、とても寒い日が続いています。大寒（1月20日）も過ぎ、いよいよ一年で一番寒い季節がやってきたようです。インフルエンザ等による欠席や、体調不十分な子どもたちの増加が心配されます。しっかりと、うがいと手洗い（石けんと流水で30秒以上）を習慣づけていきたいと思っています。しかし、グリーンガーデンの梅の赤いつぼみが膨らみかけ、水仙はつぼみをつけています。少しずつ“春”は近づいてきているようです。学校では、どの学年も1年間のまとめをしたり、新しい学年を意識した活動に取り組んだりしています。6年生をお手本にして、元気に寒さを乗り切ってほしいと思っています。

防災授業・引渡訓練!



1月20日（土）の土曜参観日では、「自分の身は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」を目的として、防災授業と引渡訓練を行いました。防災授業では、江戸時代末の安政南海地震津波をもとにした物語「稲むらの火」の紙芝居をもとにした授業を全学年で行いました。本校は、海拔0.1mに立地しているため、大規模地震に伴う大津波では、迅速な対応が求められます。これからも、多様な防災授業や避難訓練等を通して、保護者や地域としっかりと連携し、子どもたちに「防災意識と対応力」を、一人一人に身につけさせたいと考えています。

物語の概要

村の高台に住む五兵衛は、地震の揺れを感じた後、海水が沖合に退いていくのを見て、津波の襲来に気づく。祭りの準備に心奪われている村人たちに危険を知らせるため、五兵衛は自分の田にある刈り取ったばかりの稲の束（稲むら）に松明で火をつけた。火事と見て、消火のために高台に集まった村人たちの眼前で、津波は猛威を振るう。五兵衛の機転と犠牲的精神によって、村人たちはみな津波から守られた。

地域を自分たちで守る!

「自助」とは・・・自分の身は自分の力で守ること

※2011年（平成23年）の東日本大震災では、「釜石の奇跡」「津波てんでんこ」として語られています。

「共助」とは・・・身近な人たちが、お互いに助け合うこと

※1995年（平成7年）の阪神・淡路大震災の教訓から、「自助」「共助」が極めて重要とされています。

「公助」とは・・・国、県、市などの行政機関による救助・援助

読書を通して豊かな育ちへ!

岡山市では、「岡山市の未来を担う子どもたちが、読書を通じて自ら学び、自ら考えることができる人間として成長していけるよう、社会全体で取り組む。」を目的として、「子ども読書活動推進計画」を進めています。

基本方針

- 子どもが読書に親しむ環境の整備
- 家庭・学校・地域のネットワークづくり
- 子どもの読書活動についての情報発信

※子どもが自然に本にふれ読書に親しむ機会をつくるのが大切!!



くるりんぱのみなさん

1月16日（火）には、いろいろな職員が各学年で読み聞かせを行いました。

- 1年 大江先生
「たろうのともだち」 村山桂子 作 堀内誠一 絵
※だれとでもなかよくできるといいな!
- 2年 井上先生
「たかこ」 清水真裕 作 青山友美 絵
※友達のよさを見つけよう! みんなとなかよくできるといいな!
- 3年 鬼塚先生
「きみはほんとうにステキだね」 宮西達也 作/絵
※これからも友達や下級生を大切にしてほしいと願って!!
- 4年 校長先生
「犬とねことうろこ玉」 中川李枝子 作 山脇百合子 絵
※高学年となり、忙しくなる5年生に向けて! 期待を込めて!!
- 5年 教頭先生
「せかいのひとびと」 ピーター・スピーアー 作/絵
※みんなちがってみんないい! みんなが同じだと死ぬほどたいくつ!
- 6年 信原先生
「子どもに伝える日本国憲法」 井上ひさし 作 いわさきちひろ 絵
※自分たちにとって憲法とは どのようなものなのだろう!?

2月には、「日本の伝統文化にふれる。」「言葉の美しさやリズム感、歌に表される情景などを感じ、日本語の持つ豊かな表現を味わう。」ことを目的として、図書委員会が「百人一首大会」を計画しています。友達との一緒に楽しんでほしいものです。図書委員の活躍に期待しています。



朝ごはんのチカラ!



豚汁パーティー

「脳を鍛えるDSトレーニング」で有名な川島教授（東北大学の脳科学者）は、「脳を育む食育」の第一人者とも言われています。講演会などの中で、様々な研究を元に、「朝ご飯で人生が変わる」をキーワードとし、次の3点を重点として、食育を推進されています。

- 子ども時代に、しっかりと朝食をとったかどうか、その後の人生を左右する。
- 炭水化物だけではなく、栄養的にバランスの取れた朝食が大切。
※パンよりご飯がよい。
- 子どもと、よりよい関係を築くためには、親子で食事を作ることが効果的。

川島教授は、脳の科学的データ分析から、バランスのよい朝ご飯を食べるだけでなく、現代の希薄になりがちな親子関係の中、親子で調理することは**大脳の活性化・発達**だけではなく、**親子の関係性を強める**ための道具として重要だと説かれています。学校でも、家庭科授業だけではなく、**食育授業や体験活動の充実**を通して、「食」に対する興味関心を高め、「**食べる力=生きる力（自己管理能力）**」をしっかりと身につけさせたいと考えています。

七区小学校の「食育」のめあて

小学校期は、**健康づくりの基礎となる正しい食習慣が形成される時期**であり、体力・運動能力も急速に高まります。この時期に、「**食べる力**」を育成するためには、「**食の基礎を習得**し、健康な生活ができるようにすることが大切です。学校、家庭、地域がしっかりと連携していきたいと考えています。

ポイント

- ①「**早寝・早起き・朝ご飯**」が基本。特に、朝ご飯をしっかりと食べ、規則正しい生活リズムを身につける。
※**ご飯を中心とした、バランスの良い食事が大切!**
(主食+主菜+副菜+汁物 = 理想的朝ご飯)
- ②**家族と一緒に食事をして、ふれあいの場をもつ。**
- ③「**いただきます・ごちそうさま**」の挨拶を大切にする。
- ④箸を正しく使ったり、正しい姿勢で食べたりするなど、食事のマナーを身につける。
- ⑤食べ残しを減らし、「**もったいないの心**」を育てる。
- ⑥毎食後、歯磨きをする。
- ⑦**栽培から収穫、調理などの体験を通し、「食」に関心をもつ。**
- ⑧食品を選んだり、自分で調理したりするなど、「食」の基礎を身につける。
- ⑨食品の表示について知る。
- ⑩地域の産物や郷土料理、食文化について知る。

「食べる力」とは

- 「心と身体の健康を維持する」
- 「食事の重要性や楽しさを理解する」
- 「食べ物の選択や食事づくりができる」
- 「家族や仲間と一緒に食べる楽しさを味わう」
- 「食べ物の生産過程を知り感謝する気持ちを持つ」

【2月の行事予定】

日	曜	内 容
1	木	百人一首大会
2	金	食育授業（6年） 灘崎中学校保護者説明会
3	土	
4	日	
5	月	児童朝会 租税教室（6年） クラブ・クラブ見学 百人一首大会
6	火	給食指導（3年） 一斉下校
7	水	牛乳パック・ベルマーク回収 百人一首大会
8	木	牛乳パック・ベルマーク回収
9	金	
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	参観日 学級懇談集金 地域協働学校運営協議会 5年親子集会 一斉下校
14	水	6年「こころの授業」 空き缶回収
15	木	くるりんぱ 空き缶回収 灘崎中学校特別支援授業見学交流会
16	金	食育授業（3年）
17	土	
18	日	灘崎地区マラソン大会
19	月	新1年生保護者説明会
20	火	環境教室（4年） 灘崎中学校体験入学 一斉下校
21	水	たてわり遊び
22	木	たてわり遊び
23	金	避難訓練（不審者）
24	土	
25	日	
26	月	代表委員会 委員会
27	火	オフメディアウィーク～ 一斉下校
28	水	

花いっぱい緑いっぱいの学校へ!



昔、山羊を飼育していたプール前の荒れ地が、地域の方にご協力いただき、畑に生まれ変わりました。春からは、理科の勉強や、**サツマイモやダイコンなど、いろいろな野菜作り**などに活用する予定です。



卒業式を待つ桜草

野菜は、灘崎学校給食センターにプレゼントしたり、秋には焼き芋をしたりと、楽しみながら、子どもたちに、豊かな体験をさせたいと思っています。
ご支援ご協力をよろしくお願いします。

